

審査基準

1. 採択案件の決定方法

申請のあった事業実施計画書について審査を行い、原則、企画評価委員会の審査結果の上位から採択先を決定するが、多様性を確保する観点から、AI等の活用場面（テーマ）、AI等のデジタル技術の種類及び実証研究校の学校種等のバランスに考慮をして採択を行う場合がある。

審査過程、各審査委員の審査結果については、非公開とする。

2. 審査方法等

TOPPAN株式会社（以下、事務局）内に置かれた企画評価委員会において、事業実施計画書等に基づく書類審査を実施する。

また、企画評価委員会は、必要に応じて申請者にヒアリングを求める場合があるほか、審査期間中に事業実施計画書のほかに、事業実施計画内容の詳細に関する追加資料の提出を求めることができる。

3. 審査に係る評点と評価項目

企画提案された事業の採否に当たっては、**別紙4**の各審査項目に沿って行い、以下の5段階の区分により判断することとする。（配点等は**別紙4**参照）

評点	評価
5	非常に優れている。
4	優れている。
3	妥当である。
2	やや不十分である。
1	不十分である。

【審査の基本的考え方】

- 各審査項目に付す評点（5～1）については、「絶対評価」により付すこととする。
- 審査の所見は、採択すべき団体の決定に当たって極めて重要な判断材料となるため、できるだけ「コメント」欄又は「総合所見」欄に記入すること。特に、審査項目の評点で、どの点が優れているのか又はどの点が不十分であるのかについて、具体的に判断根拠・理由等を必ず「コメント」欄に記入すること。
- 審査項目に対応する記載の不備、誤記入等により判断できない場合は、評点を1とし、その具体的な理由を必ず「コメント」欄に記入すること。
- 採択となった際、計画の修正等の条件を付す必要がある場合は、必ずその内容を「総合所見」欄に記入すること。
- 評価を実施した審査委員が付した意見等を総合的に判断し、採択できるものとする。

【ワーク・ライフ・バランス等の推進に関する評価について】

評価項目の「4. ワーク・ライフ・バランス等の推進に関する指標」については以下の認定等の中で該当する最も配点の高い区分により評価を行う。なお、内閣府男女共同参画局長の認定等相当確認を受けている外国法人については、相当する各認定等に準じて評価する。

○えるぼし認定等（女性活躍推進法）

- ・認定段階1（労働時間等の働き方に係る基準は満たすこと）＝3点
- ・認定段階2（労働時間等の働き方に係る基準は満たすこと）＝5点
- ・認定段階3＝6点
- ・プラチナえるぼし認定＝8点
- ・行動計画策定済（女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画の策定義務が無い事業主（常時雇用する労働者の数が100人以下のもの）に限る（計画期間が満了していない行動計画を策定している場合のみ））＝2点

○次世代育成支援対策推進法（次世代法）に基づく認定（くるみん認定企業・トライくるみん認定企業・プラチナくるみん認定企業）

- ・くるみん認定①（平成29年3月31日までの基準）（次世代法施行規則等の一部を改正する省令（平成29年厚生労働省令第31号。以下「平成29年改正省令」という。）による改正前の次世代法施行規則第4条又は平成29年改正省令附則第2条第3項の規定に基づく認定）＝3点
- ・トライくるみん認定＝5点
- ・くるみん認定②（平成29年4月1日～令和4年3月31日までの基準）（次世代法施行規則の一部を改正する省令（令和3年厚生労働省令第185号。以下「令和3年改正省令」という。）による改正前の次世代法施行規則第4条又は令和3年改正省令附則第2条第2項の規定に基づく認定（ただし、①の認定を除く。））＝5点
- ・くるみん認定③（令和4年4月1日以降の基準）（令和3年改正省令による改正後の次世代法施行規則第4条第1項第1号及び第2号の規定に基づく認定）＝5点
- ・プラチナくるみん認定＝8点

○青少年の雇用の促進等に関する法律（若者雇用促進法）に基づく認定

- ・ユースエール認定＝5点

○上記に該当する認定等を有しない＝0点